計画日：令和●年●月●日

・前提となる専門知識の無い市民の方が読んでも理解できるように

記入してください。

・A4サイズ４枚程度に収めてください。

・詳細を示すに当たって任意の書類を添付することは可能ですが、

各欄には概要を記載のうえ、末尾に「詳細は別紙のとおり」などと

参照を促すようにしてください。

（最終更新日：令和●年●月●日）

三鷹市福祉Laboどんぐり山　協働研究計画書

１　協働団体

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 団体(企業) | 団体名 | DONGURI株式会社 |
| 所在地 | 〒181-1111東京都三鷹市野崎一丁目１番１号 |
| 担当 | 氏名(役職) | ［責任者］団栗　太郎（課長）［窓口担当者］栗山　次郎（AIロボット開発主任） |
| 部署 | 高齢者支援課 |
| 電話番号 | 0422-45-1151、090-1234-5678（栗山携帯） |
| ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ | donguri-donguri@mitaka.or.jp |

２　研究・開発内容

|  |  |
| --- | --- |
| タイトル | AIケアマネジャーロボットの開発 |
| 目的(背景) | 全国的にケアマネジャーの不足が深刻化していることから、ケアマネジャーの代わりとなる、またはケアマネジャーの業務をサポートすることのできるAIロボットの開発を目指す。 |
| 内容 | （概要、対象者、方法、進め方、倫理審査、実証実験、評価手法　など） |
| ■概要以下のケアマネジャー業務を対応できるAIロボットを開発する。・よくある問合せ応対・ケアプラン作成のサポート■進め方ケアマネジャーへのヒアリング及びアンケートを実施し、よくある問合せの傾向やその解決内容、優先順位の決め方などの情報を収集する。また、ケアプランの作成方法・手順などを体系化し、作成スキームを確立したうえで、AIに学習させる。また、並行して高齢者に受け入れやすいデザインのロボット本体を製造する。■実証実験居宅介護支援事業所に協力を依頼し、相談の一次受付としてAIロボットを関与させる。■評価手法AIロボットによる対応を受けた相談者に対して、都度アンケートを行い対応の満足度を収集する。 |
| 成果（見込み） | AIロボットのサポートにより、ケアマネジャーの業務負担が軽減される。 |
| 期間 | 令和６年９月～令和８年９月 |
| スケジュール（予定） | ■令和６年９～12月・今後の進め方について検討■令和６年11月～令和７年３月・ロボットデザインの検討、ロボット試作機の設計■令和７年１～３月・ケアマネジャーへのヒアリング及びアンケートの実施■令和７年４～10月・AIの構築・ロボットの製造■令和７年11月～令和８年３月・AIロボット試作機を使った実証実験の実施■令和８年４～８月・試作機の改良（試作機２号の製造）■令和８年９月・AIロボットの完成及び完了報告 |

３　協働内容（主な役割）

|  |  |
| --- | --- |
| 協働団体の役割 | （誰に、何を、する（してもらう）など、具体的に） |
| ■AIの構築に必要な情報の精査・決定■ヒアリング及びアンケートの項目・内容の決定■ヒアリング・アンケート結果の分析■AIの構築、ロボットの製造及びその改良■実証実験手法及びアンケートの確立 |
| 福祉Labo(市)の役割 | （誰に、何を、する（してもらう）など、具体的に） |
| ■ケアマネジャーとのヒアリングに向けての居宅介護支援事業所との橋渡しや機会の場の設定■アンケートの配布にあたっての、三鷹市や介護保険事業者連絡協議会等への周知■居宅介護支援事業所への実証実験の協力依頼・調整 |
| その他の協力団体 | （団体名称、役割、関係性など、特にいない場合は不要） |
| ■KUNUGI工業デザイン株式会社・役割　　高齢者やその家族に受け入れられやすいロボット筐体のデザイン作成（ケアマネジャーとのヒアリングに同席予定）・関係性　DONGURI株式会社より依頼 |

４　三鷹市民及び三鷹市への成果の還元（案）

|  |  |
| --- | --- |
| 還元内容 | （介護環境の向上といった抽象的なものよりも、製品提供や講座実施など具体的なもの） |
| 例①：完成したAIロボットを７台５年間無償貸与例②：今回の研究を通じて得た知見をもとに、市民・ケアマネジャー向けの講座を５回行う。 |
| 予定時期 | 例①：令和８年10月～令和13年９月例②：令和８年11月～令和11年４月 |

５　備考・その他

|  |  |
| --- | --- |
| 自由記述 |  |